

平成24年11月19日

続・CATVサービスにおける地デジ詐欺に関する陳情(別紙6枚)

美祢市議会議長 秋山哲朗様

陳情の趣旨

山口ケーブルビジョン株式会社が、総務大臣の裁定により再放送することが可能になった“福岡県の地デジをケーブルテレビの利用者に受信させない詐欺”を働いている。

(山口ケーブルビジョンと自治体による偽装工作→別紙)

同社は、大臣が裁定すれば不要な裁定の当事者間での協議が必要であるとウソをつき、それを理由に基本チャンネルを視聴させず、受信契約者からCATVの基本料金をダマし取っている。

(福岡の地デジを受信させないための口実→別紙)

しかも同社は福岡の地デジ放送局と協議を行っておらず、福岡の放送局は同社による地デジの再放送を妨げていない。

(福岡市の地デジ局から得た情報→別紙)

同社と口裏を合わせた宇部市長と防府市長も、6月と9月の定例会において「山口ケーブルビジョンと福岡の地デジ局が協議中である」と、虚偽の答弁をした。

(両市長の議会答弁→別紙)

自治体と山口ケーブルビジョン(株)らが結託し、福岡の地デジを再放送しないことで山口県内の地デジ局に便宜を図る一方、ケーブルテレビの視聴者に不利益を被らせており、たちが悪い。

(美祢市ら自治体の地デジ詐欺への関与“自治体と県内民放との癒着”→別紙)

市議会には、市役所執行部への監視機能を果たしていただきたい。

陳情項目(意見)

・市議会は阿東町と同町議会に倣い、山口ケーブルビジョン(株)が基本チャンネルを再放送しない本当の理由を明らかにすべき。

(隠ぺいされた情報の公開)

・すぐに基本チャンネル「FBS福岡放送・rkbテレビ・KBCテレビ」の再放送を開始させ、これまでに山口ケーブルビジョン(株)と自治体が詐取した分の料金を返還させなければならない。

(阿東町では1年間の基本料金が無代→8月に提出した陳情書の別紙)

提出者



総務大臣の裁定（平成23年6月21日）

福岡民放4社の放送の再送信について、同意をしない正当な理由が認められないため、全て同意すべき旨裁定する。

・この裁定により、山口ケーブルビジョン(株)が総務省に届け出れば、rkbテレビ、KBCテレビ、FBS福岡放送とTVQ九州放送の地デジを再送信(再放送)することが、可能になった。

山口ケーブルビジョン(株)は、裁定の日とTVQだけを再放送する申請をした時に、総務省へ「でっちあげの協議中」を伝えた。

総務省から得た情報

中国総合通信局有線放送課の回答

総務省が山口ケーブルビジョンから、TVQ九州放送のテレビ再放送に係る同意書を添付した申請書を受理した日付は、いつですか。

↓

・山口ケーブルビジョン(株)から提出された「変更登録申請書」は平成23年7月14日付で受理しております。

宇部市長の議会答弁（平成24年6月13日）

ケーブルテレビの区域外再送信の見込みについてですが、山口ケーブルビジョン株式会社によりますと、裁定に先立ち、総務大臣の諮問を受けた情報通信行政・郵政行政審議会の有線放送部会長から、答申に際して、当事者間で円満な解決が行われることを期待する旨の談話が出されておりますので、再送信を強行することなく、協議を進めてきたとのことです。

しかしながら、協議における双方の認識には隔たりが大きく、早急に結論を出すことが望めない中で、山口ケーブルビジョン株式会社は、緊急対応措置として、山口県に系列局のないTVQ九州放送については、再送信を実施いたしました。

一方で、山口県に系列局のある福岡放送、RKB毎日放送、九州朝日放送については、ほとんどの番組を地元放送局と共有していることから、再送信を見送っています。

CATV局(三セク)と自治体による作り話

防府市長の議会答弁（平成24年9月13日）

大臣裁定の当事者4社“山口ケーブルビジョン(株)と福岡の地デジ3局”が再送信(再放送)について協議中であり、それを見守っている。

総務省から得た情報

情報流通行政局衛星・地域放送課
地域放送推進室の回答

山口ケーブルビジョン(株)から大臣裁定に係る再放送について、放送事業者と協議していく旨の連絡を中国総合通信局が受けたのは、ご指摘のとおり、平成23年6月21日と同年7月14日の2回です。

ケーブルテレビの利用者に福岡の地デジを視聴させないために受信契約者ばかりか総務省をも欺く念の入れよう

山口ケーブルビジョン
株式会社による画策
— 自治体との偽装工作 —

総務省から得た情報

中国総合通信局有線放送課の回答

当省では、大臣裁定後に、山口ケーブルビジョン(株)から、(株)福岡放送の再放送について、(株)福岡放送と協議中である旨の情報を入手し、その後の協議結果については入手等していないため、「当事者間において、現在も協議継続している」と認識しております。
(株)福岡放送から、同旨の情報は入手しておりません。

福岡の地デジ局から得た情報

大臣裁定以降、山口ケーブルビジョン(株)とは協議を行っておりません。その後山口ケーブルビジョン(株)が再放送を開始していないことは承知しておりますが、弊社は阻害などしておりません。
(株)福岡放送 再放送担当

総務省から得た情報 “審議会・有線放送部会長の談話(平成23年6月20日)”

ご照会のありました答申に際しての発言内容は以下のとおりです。

「4月7日総務大臣より諮問されたよさこいケーブルネット株式会社申請の再送信同意に係る裁定について答申を行った。

本件は、よさこいケーブルネット株式会社から、岡山県、香川県の放送事業者であるテレビせとうち株式会社に対し、有線テレビジョン放送法第13条第3項に基づき、総務大臣への裁定の申請があったもの。

当部会において審議を行った結果、テレビせとうち株式会社は、よさこいケーブルネット株式会社から再送信同意の求めのあったテレビジョン放送に関し、再送信することに同意しなければならないとは認められない旨の裁定することは適当との答申をすることになった。

5月18日総務大臣より諮問された山口ケーブルビジョン株式会社及び美祢市申請の再送信同意に係る裁定について答申を行った。

本件は、山口ケーブルビジョン株式会社及び美祢市から、福岡県の放送事業者4社、株式会社福岡放送、RKB毎日放送株式会社、九州朝日放送株式会社及び株式会社TVQ九州放送に対し、有線テレビジョン放送法第13条第3項に基づき、総務大臣への裁定の申請があったもの。

当部会において審議を行った結果、各放送事業者は、山口ケーブルビジョン株式会社から再送信同意の求めのあったテレビジョン放送に関し、再送信することに同意しなければならない旨の裁定することは適当との答申をすることになった。

美祢市からの総務大臣の裁定に係る申請については、有線テレビジョン放送法第13条第3項に該当しないため、拒否処分とすることが適当との答申をすることになった。

なお、再送信同意については、放送事業者と有線テレビジョン放送事業者との間で協議することにより解決されることが基本と考える。協議が調わず大臣裁定が申請されたときは、有線放送部会に諮問され審議することになるが、裁定が出た後も、それを前提として当事者間でさらにより解決方法を求めることは可能であると思う。

放送事業者、有線テレビジョン放送事業者が、お互いの立場を尊重した誠実な話し合いを通じ、再送信同意の問題が解決することを期待。

以上です。」

情報流通行政局総務課審議会係

山口ケーブルビジョン株式会社らがケーブルテレビの利用者に福岡県の地デジを受信させないための口実→

福岡の地デジ局から得た情報

大臣裁定以降、山口ケーブルビジョン(株)とは協議を行っておりません。その後山口ケーブルビジョン(株)が再放送を開始していないことは承知しておりますが、弊社は阻害などしておりません。

(株)福岡放送 再放送担当

大うそ

宇部市長の議会答弁 (平成24年6月13日)

ケーブルテレビの区域外再送信の見込みについてですが、山口ケーブルビジョン株式会社によりますと、裁定に先立ち、総務大臣の諮問を受けた情報通信行政・郵政行政審議会の有線放送部会長から、答申に際して、当事者間で円満な解決が行われることを期待する旨の談話が出されておりますので、再送信を強行することなく、協議を進めてきたとのことです。…

防府市長も同じ
内容の虚偽答弁
(同年9月13日)

YouTube
ビデオ



山口ケーブルビジョン株式会社が地デジへの完全移行に乗じて、福岡県の放送(rkbテレビ・KBCテレビ・FBS)を受信させないために偽装工作し(→他の別紙)、山口ケーブルテレビの視聴者だけが不利益を被っている。

福岡の地デジ局から得た情報

大臣裁定以降、山口ケーブルビジョン(株)とは協議を行っておりません。その後山口ケーブルビジョン(株)が再放送を開始していないことは承知しておりますが、弊社は阻害などしておりません。
(株)福岡放送 再放送担当

山口ケーブルビジョン による地デジ詐欺

NHK山口
NHKEテレ
テレビ山口(tys)
山口放送(KRY)
山口朝日放送(yab)

KBC九州朝日放送
RKB毎日放送
FBS福岡放送
TVQ九州放送
TNCテレビ西日本
(TNC除き大臣裁定)

ひまわりてれび(島原 半島)などの地デジ

NHK長崎
NHKEテレ
長崎放送
長崎国際テレビ
長崎文化放送
テレビ長崎

KBC九州朝日放送
RKB毎日放送
FBS福岡放送
TVQ九州放送
TNCテレビ西日本
(すべて総務大臣裁定なし)

多くの佐賀県CATV 事業者による地デジ

NHK佐賀
NHKEテレ
サガテレビ

KBC九州朝日放送
RKB毎日放送
FBS福岡放送
TVQ九州放送
TNCテレビ西日本
(すべて総務相裁定なし)

佐伯ケーブルテレビ などの地デジ

NHK大分
NHKEテレ
大分放送
テレビ大分
大分朝日放送

KBC九州朝日放送
RKB毎日放送
FBS福岡放送
TVQ九州放送
TNCテレビ西日本
(TVQ除き総務相裁定)



自治体と山口県内の地デジ局3社が集ったという情報（平成23年7月中旬）

テレビ山口労働組合ニュース(11.7.13)と(11.7.15)より

先日、自治体側と県内民放3社のトップ会議が行われた模様だが、詳細は明らかになっていない。

11日、県内民放局と自治体のトップ会談が行われたが、決着にはいたらなかったとのことだ。翌12日、13日、テレビ山口にて、再び県内民放局のトップが顔を合わせた。内容については知る由もないが、こちらも平行線に終わったようだ。

総務省の中国総合通信局から得た情報

総務省が山口ケーブルビジョンから、TVQ九州放送のテレビ再放送に係る同意書を添付した申請書を受理した日付は、いつですか。

・山口ケーブルビジョン(株)から提出された「変更登録申請書」は平成23年7月14日付で受理しております。

山口ケーブルビジョン(株)がRKB・KBC・FBSを再放送するための申請を見送ったことへの自治体の関与を裏付けるべく防府市に問うた

防府市なんでも相談係長への質問eメール（平成24年6月24日）

阿東町と同じく、防府市は山口ケーブルビジョン(株)によるテレビの再放送に関して詳しく知り得る立場にある。

山口県市長会が山口ケーブルビジョン(株)に裁定の申請を促した時、松浦市長は市長会の会長だった。

KRY山口放送(株)やtysテレビ山口(株)ら総務相裁定の当事者ではない山口県内の民放局と防府市などの自治体が、福岡県のテレビ再放送の件で、昨年7月中旬に談合した。

山口ケーブルビジョン(株)の齋藤社長はテレビ山口(株)の社長でもあり、そのtysらが福岡の地デジ再放送を阻止する目的で自治体と会談したのは、事実上、再放送を中止するかどうか自治体の判断に委ねられていたからに他ならない。

(株)福岡放送は、山口ケーブルビジョン(株)が地デジを再放送することを妨げていないし、協議中でもない。

これらを踏まえて、山口ケーブルビジョン(株)が山口県内の民放局に便益を与えるべく福岡県の地デジをケーブルテレビの利用者に受信させないために裁定の当事者間での協議が必要になったという虚偽の理由をでっちあげ受信契約者に不利益を被らせた地デジ詐欺に、防府市が大きく関与しているものと考え市役所に相談している次第です。

私の認識に誤りがあれば、ご指摘ください。

なんでも相談係長への確認（7月12日）

6月24日付けのeメールで述べた地デジ詐欺に関しての私の認識に誤り(否定できる点)は、ありますか。

市政なんでも相談課の回答（7月23日）

ご質問いただきました件について、本市はコメントする立場にありません。【防府相第29号】

電算統計課への質問eメール（7月25日）

平成23年7月に、防府市は山口県内の民放テレビ局と会談しましたか。

防府市は山口ケーブルビジョン(株)の地デジ詐欺に関与し福岡県の放送をケーブルテレビの利用者に受信させないことで、区域外テレビの再放送に反対している県内の民放テレビ局に便宜を図りましたか。

電算統計課の回答（平成24年8月20日）

防府市相第29号でお答えしましたとおり、今後本件に関する個別の要望や質問への回答は差し控えさせていただきます。【防府相第30号】

電算統計課への質問eメール（8月22日）

防府市が県内の民放テレビ局と会談し防府市が地デジ詐欺に関与したかどうかに関しては防府市へ問い合わせるべきであり、防府市は防府市が県内の民放テレビ局に便宜供与したのか否かを地デジ詐欺の被害者に対し明らかにすべきではありませんか。

“防府市役所から返答なし”

× 美祢市・地域情報課長による総務企業委員会での説明（平成23年12月7日）

山口ケーブルビジョンからは、福岡県の重複3波に前向きに検討はしていただいているが、今しばらく猶予をしていただきたいというような返事をいただいております。裁定が下されたにも関わらず、協議はまだ難航しているというような状況でございます。

× 宇部市長による市議会の一般質問に対する答弁（平成24年6月13日）

ケーブルテレビの区域外再送信の見込みについてですが、山口ケーブルビジョン株式会社によりますと、裁定に先立ち、総務大臣の諮問を受けた情報通信行政・郵政行政審議会の有線放送部会長から、答申に際して、当事者間で円満な解決が行われることを期待する旨の談話が出されておりますので、再送信を強行することなく、協議を進めてきたとのことです。

しかしながら、協議における双方の認識には隔たりが大きく、早急に結論を出すことが望めない中で、山口ケーブルビジョン株式会社は、緊急対応措置として、山口県に系列局のないTVQ九州放送については、再送信を実施いたしました。

一方で、山口県に系列局のある福岡放送、RKB毎日放送、九州朝日放送については、ほとんどの番組を地元放送局と共有していることから、再送信を見送っています。

防府市議会の一般質問(平成24年9月13日)で指摘 “福岡の地デジ局から得た情報”

大臣裁定以降、山口ケーブルビジョン(株)とは協議を行っておりません。

その後山口ケーブルビジョン(株)が再放送を開始していないことは承知しておりますが、弊社は阻害などしておりません。
(株)福岡放送 再放送担当

YouTube

× 防府市長の議会答弁
(9月13日)



大臣裁定の当事者4社“山口ケーブルビジョン(株)と福岡の地デジ3局”が再送信(再放送)について協議中であり、それを見守っている。

山口ケーブルビジョン(株)が自治体4市に対して、うそ「裁定の当事者間で協議中」をつくはずがない。つまり、ぐる。長崎や大分のケーブルテレビは福岡3局の地デジを再送信(再放送)しており、「民放連のくくり」など関係ない。

防府市長の説明が虚偽であるとの指摘を受けて

× 総務部長の議会答弁
(9月13日)

YouTube



山口ケーブルビジョン(株)からは、当事者間で協議中、と聞いている。

矛盾

× 防府市・総務部長の議会答弁(平成24年9月13日)つづき

民放連という大きなくくりもあり、山口ケーブルビジョンは福岡の放送局と協議していないのかもしれない。

山口市・情報管理課への質問

eメール（平成24年8月29日）

[1] 平成23年7月に、山口市は山口県内の民放テレビ局と会談しましたか。

[2] 山口市は山口ケーブルビジョン(株)による地デジ詐欺に関与し、福岡県の放送をケーブルテレビの利用者に受信させないことで、区域外テレビの再放送に反対している県内の民放テレビ局に便宜を図りましたか。

[3] 宇部市長が「再放送を妨げている福岡の地デジ放送事業者と山口ケーブルビジョン(株)が協議中」と議会答弁しましたが、山口市長のご認識も同じですか。それとも、山口ケーブルビジョン(株)と自治体および山口県内の民放テレビ局が結託し、でっち上げた「協議中」で受信契約者を欺き、CATVの基本料金を詐取しているのですか。

山口市・情報管理課の回答

eメール（平成24年10月11日）

区域外再放送の問題につきましては、これまで山口ケーブルビジョン視聴エリアの各市(宇部市・美祢市・防府市・山口市)が連携し要望してきたことや、現所在地元自治体として民間事業者間の協議を見守っている状況にあることから、個別のご質問への回答は差し控させていただきます。

山口市・情報管理課への質問

eメール（平成24年10月11日）

山口市は、山口ケーブルビジョン(株)が福岡の地デジを中止したことに関与しておらず、同社と福岡市の民放局との協議を見守っているだけであり、ケーブルテレビに関しては現在、何もしていないものと理解しましたが、その認識で間違いありませんか。

“山口市役所から返答なし”

福岡県の地デジを再送信できない理由

あむ阿東町議会広報(平成19年8月20日号)より

～平成19年6月定例会閉会後の全員協議会にて～

山口ケーブルビジョン(株)事業推進局長「NHKとTYSは、区域外再送信の同意は得ている。KRYは一切認めず、申込書は不受理、YABも区域外再送信は認めないが申込書は受理している。」

・KRY山口放送(株)とYAB山口朝日放送(株)が同意すれば福岡の地デジを再送信(再放送)できるのか、との質問に対し、
山口ケーブルビジョン(株)専務「そのとおりである」。

県内民放2社から同意が得られず大臣裁定申請

総務大臣の裁定 (平成23年6月21日)

福岡民放4社の放送の再送信について、同意をしない正当な理由が認められないため、全て同意すべき旨裁定する。

・この裁定により、山口ケーブルビジョン(株)が総務省に届け出るだけで、ケーブルテレビの全利用者が、rkbテレビ、KBCテレビ、FBS福岡放送とTVQ九州放送の地デジを受信することが、可能になった。

福岡の地デジ局から得た情報

大臣裁定以降、山口ケーブルビジョン(株)とは協議を行っておりません。その後山口ケーブルビジョン(株)が再放送を開始していないことは承知しておりますが、弊社は阻害などしておりません。
(株)福岡放送 再放送担当

そのTYSテレビ山口(株)と福岡の地デジ再送信を妨げるKRYとYABが、自治体と「トップ会談」を行った結果、再送信(再放送)が取りやめになった。
TYS社長でもある山口ケーブルビジョン(株)の社長にとつて、競合する地デジの数が少ないほど都合がいい。

美祢市ら自治体の
地デジ詐欺への関与

― 県内テレビ局との癒着 ―

自治体と山口県内の地デジ局3社が談合したという情報 (平成23年7月15日)

tysテレビ山口労働組合ニュース(11.7.15)より

6日に開催した臨時大会以降の状況を説明する。まず、11日、県内民放局と自治体のトップ会談が行われたが、決着にはいたらなかったとのことだ。翌12日、13日、テレビ山口にて、再び県内民放局のトップが顔を合わせた。内容については知る由もないが、こちらも平行線に終わったようだ。視聴率調査地域内で同系列の九州波が流れるといった、数年前の暗黒時代へ逆戻りする危険が高まっている。

二束のわらじを履き「どちらの利益も追求する」という社長を見ていると、山口ケーブルビジョン側へ重心が傾いていると感じざるを得ない。また、我々社員に対する説明もないこの状況は、到底納得できるものではない。

放送開始を広告するも7月22日(金)までに総務省へ必要な届け出をせず再送信を中止した

山口ケーブルビジョン株式会社からの回答eメール (平成23年8月17日)

7月22日新聞に掲載しました内容ですが、新聞掲載原稿を制作した時点では24日よりTVQを含む4局について放送する予定でした。

また、デジアナ変換放送についても4局を放送する予定でしたが、その後状況が変わりまして、放送をするためにはもう少しお時間をいただくようになり、まずTVQからの放送となりました。

大臣裁定がおりましたが、ある程度の調整は必要となります。

RKB毎日放送、KBC九州朝日放送、FBS福岡放送については協議中です。

陳情書 在中



美祢市議会事務局 御中



7
5
9
2
2
9
2